

神神秘域

かみ

ひそみ

いき

その式

野村萬斎 × 杉本博司・三番叟公演
『神秘域 (かみ ひそみ いき) その式』

日時

2013年4月26日(金)

会場

渋谷区文化総合センター大和田さくらホール

19時開演

出演

野村萬斎
他 万作の会

囃子方

笛

小鼓

藤田六郎兵衛

吉阪一郎

荒木建作

上田敦史

大鼓

亀井広忠

主催・企画制作

協力

万作の会

公益財団法人小田原文化財団

チケット発売情報については、2013年1月中旬に、
小田原文化財団ホームページにてお知らせいたします。

www.odawara-af.com

＜伝統芸能 × 現代美術＞の世界発信を渋谷で体感

本公演は、昨年 2011年 9月 21日、ヨコハマトリエンナーレ 2011「OUR MAGIC HOUR プログラム」の一環としておこなわれた特別公演『神秘域』の第二弾です。

また、2013年 3月 28日、29日、ニューヨーク・グッゲンハイム美術館主催で行われる三番叟公演『SANBASO - NOMURA MANSAI+HIROSHI SUGIMOTO』

の日本凱旋公演でもあります。ニューヨークでは、現代美術の象徴ともいえるグッゲンハイム美術館の壮大なる空間の中、日本の最も古い祝儀芸能のひとつである「三番叟」を現代美術作家・杉本博司が再構築。時代とジャンルを超えた伝統芸能と現代美術の共演により、日本の伝統芸能の新たな表現を世界発信します。

日本凱旋公演では、渋谷の<さくらホール>を現代美術の依代空間に置き換えます。

世界に向けて新しい「日本」を紹介する好機となるプログラムにご期待ください。

速報
公演決定

◎野村萬斎 プロフィール

1966年生まれ。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定者。3歳で初舞台。東京芸術大学音楽学部卒業。「狂言」の「乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台『敦・山月記・名人伝』『国盗人』など古典の技法を駆使した作品の演出、NHK『にほんごであそぼ』に出演するなど幅広く活躍。各分野で非凡さを発揮し、狂言の認知度向上に大きく貢献。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。芸術祭新人賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞等を受賞。02年より世田谷パブリックシアター芸術監督。

◎杉本博司 プロフィール

1948年東京生まれ。立教大学卒業後、1970年に渡米、1974年よりニューヨーク在住。徹底的にコンセプトを練り上げ、精緻な技術によって表現される銀塩写真は世界中の美術館に収蔵されている。近年は執筆、設計へも活動の幅を広げ、2008年建築設計事務所「新素材研究所」を設立し、IZUPHOTOMUSEUM(静岡県長泉町)の内装設計等を手がける。主な著書に『空間感(マガジンハウス)』、『苔のむすまで』『現像』『アートの起源』(新潮社)。

内外の古美術、伝統芸能に対する造詣も深く、演出を手がけた2011年の人形浄瑠璃文楽公演「杉本文楽會根崎心中」は、2013年マドリッド、ローマ、パリを巡回予定。

1988年毎日芸術賞、2001年ハッセルブラッド国際写真賞、2009年高松宮殿下記念世界文化賞、2010年秋の紫綬褒章を受章。